県 営 秦 荘 2 期 地 区 土 地 改 良 事 業

（ 経営体育成基盤整備事業 ）

事　業　計　画　書

滋　賀　県

目　　次

第１章　目的……1

第２章　地域及び地積……1
　第１節　地域……1
　第２節　地積……1

第３章　現況……2
　第１節　気象及び海象……2
　第２節　土地状況……3
　第３節　水利状況……5
　第４節　道路概況……8
　第５節　地域農業の概況……9
　第６節　地域環境の概況……12

第４章　一般計画……13
　第１節　事業計画の要旨……13
　第２節　営農計画及び土地利用計画……13
　第３節　用水計画……17
　第４節　排水計画……21
　第５節　道路計画……23
　第６節　農用地造成計画……23
　第７節　洪水調節計画……23
　第８節　干拓計画……23
　第９節　農用地整備計画……23
　第10節　老朽ため池改修計画……23

第５章　主要工事計画……24
　第１節　用水施設……24
　第２節　排水施設……25
　第３節　道路及び索道……25
　第４節　農用地造成……25
　第５節　洪水調節施設……25
　第６節　干拓施設……25
　第７節　農用地整備施設……25
　第８節　老朽ため池改修施設……25

第６章　附帯工事計画……26

第７章　工事の着手及び完了の予定時期……26

第８章　環境との調和への配慮……26

第９章　換地計画の概要……26

第10章　事業費の総額及び内訳……27

第11章　効用……27

第12章　関連する事業……28

第13章　現況・計画図面……28

第１章　目的

本地区は、愛知郡愛荘町の中部に位置し、一級河川宇曽川の右岸に広がる農業地帯である。昭和40年代後半～50年代後半にかけて県営ほ場整備事業により20～30a区画に整備されている。

地区内水路は開水路(UF、現場打)であるが、老朽化により漏水が激しく、末端までの送水が十分に行き届かず用水不足を来している。また、支線排水路の側面や底面から土砂が流出し、法面やパネルの崩壊も部分的に見られるのをはじめ、一部の農地は水はけが悪く作業効率や生産性が悪い状態である。

このため、本事業により用排水路及び暗渠排水を整備することで生産性の高い優良農地を確保するとともに、農業の生産性の向上を図り、本地域の豊かで競争力ある農業の実現に資するものである。

第２章　地域及び地積

第１節　地域

（第１表）

事　　業　　名	地　　域
農業用用排水施設　暗渠排水	滋賀県愛知郡愛荘町蚊野、軽野

第２節　地積

（令和7年3月現在）　　（第２表）

事　業　名	現況地目 / 市町村名	田 (ha)	畑 (ha)	原野 (ha)	山林 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備　　考
農業用用排水施設 暗渠排水	愛荘町	69.0	－	－	－	－	69.0	
合　　計		69.0	－	－	－	－	69.0	

第３章　現況

第１節　気象及び海象

１　一般気象

（第３表-1）

観測所名	御河辺観測所	かんがい期	非かんがい期	計または平均	備　　考
観測期間	昭和57年～平成23年	3月　～　9月	10月　～　2月		
平　均　気　温　(℃)		19.2　℃	8.5　℃	14.7　℃	彦根地方気象台
降 水 量	平　均 (mm)	996　mm	360　mm	1,356　mm	
	基準年 (mm)	921　mm	440　mm	1,361　mm	平成8年
降水日数	平　均 (日)	75　日	48　日	123　日	
	基準年 (日)	70　日	55　日	125　日	平成8年
根　雪　期　間				－　日間	彦根地方気象台
無　霜　期　間		4月4日　～　11月21日		232　日間	彦根地方気象台
最　多　風　向		ＮＷ	最大風速 (風向)	16.6 m/s （ ＮＷ、ＷＳＷ ）	彦根地方気象台 最多風向発生時期　1月 ～ 11月 最大風速発生年月日　平成2年9月20日　、　平成10年9月22日

２　特殊気象

（第３表-2）

観　測　所　名	第　１　位			第　２　位			第　３　位			第　４　位			第　５　位			備　　考
御河辺観測所																
観　測　期　間	数　量	年月日	発生確率	数　量	年月日	発生確率	数　量	年月日	発生確率	数　量	年月日	発生確率	数　量	年月日	発生確率	
昭和57年～平成23年																
最大日雨量(mm)	152	S57. 8. 1	1/27	143	S63. 6. 8 H 2.11.30	1/18	129	H14. 7. 9	1/9	125	H 2. 9.19	1/8	124	H13. 6.19	1/8	
最大連続雨量(mm)	314	H 2. 9.12 ～ 9.19	1/120	240	S57. 7.31 ～8. 3	1/10	228	H 9. 7. 8 ～ 7.13	1/8	227	H19. 7. 9 ～ 7.17	1/7	223	H11. 6.22 ～ 6.30	1/7	
最大連続干天日数(日)	59	H19.12.29 ～H20.2.25	1/60	50	H18.12.30 ～H19.2.17	1/22	47	H11.11.24 ～H12.1.9	1/16	45	H 6. 6.28 ～ 8.11	1/13	44	H10.12. 6 ～H11.1.18	1/11	

３　海　　象　　該当なし

第２節　土地状況

１　地形、土壌及び侵食の程度

（第４表-1-1）

事業名	地目	田						畑・その他								受益地標高(m)		備考
	傾斜区分	1/1,000未満	1/1,000～1/100	1/100～1/20	1/20～1/11.5	1/11.5以上	計	3°未満	3°～8°	8°～15°			15°～20°	20°以上	計	最高	最低	
										8°～10°	10°～15°	8°～15°						
農業用排水施設 暗渠排水	面積(ha)	－	2.3	66.7	－	－	69.0	－	－	－	－	－	－	－	－	151.1	119.6	
	比率(%)	－	3	97	－	－	100	－	－	－	－	－	－	－	－			
	面積(ha)																	
	比率(%)																	
合計	面積(ha)	－	2.3	66.7	－	－	69.0	－	－	－	－	－	－	－	－			
	比率(%)	－	3	97	－	－	100	－	－	－	－	－	－	－	－			

（第４表-1-2）

項目 ＼ 土壌統（区）名	土壌統（区）分一覧表										面積（ha）			備考
	土壌断面								堆積様式	母材	事業名			
	色	腐植	礫層	酸化沈殿物	土性 表土 一層	土性 下層土 二層	土性 下層土 三層	泥炭層 黒泥層 及びグライ層			農業用排水施設 暗渠排水		計	
黄褐色土壌　壌土マンガン型	灰褐	含む	含む	含む	SL	L		なし	水積	石英斑岩、粘板岩、砂岩	69.0		69.0	I83
計											69.0		69.0	

２　土地分類　　該当なし

３　土地利用の状況

（令和7年3月現在）　（第４表-3）

事業名	土地利用別 / 市町村名	耕地						山林		採草放牧地	原野	その他	計	備考
		水田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草畑 (ha)	果樹園 (ha)	茶園 (ha)	その他の樹園地 (ha)	用材林 (ha)	薪炭林 (ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	
農業用用排水施設 暗渠排水	愛荘町	69.0	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	69.0	
合計		69.0	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	69.0	

４　土地所有の状況

（令和7年3月現在）　（第４表-4）

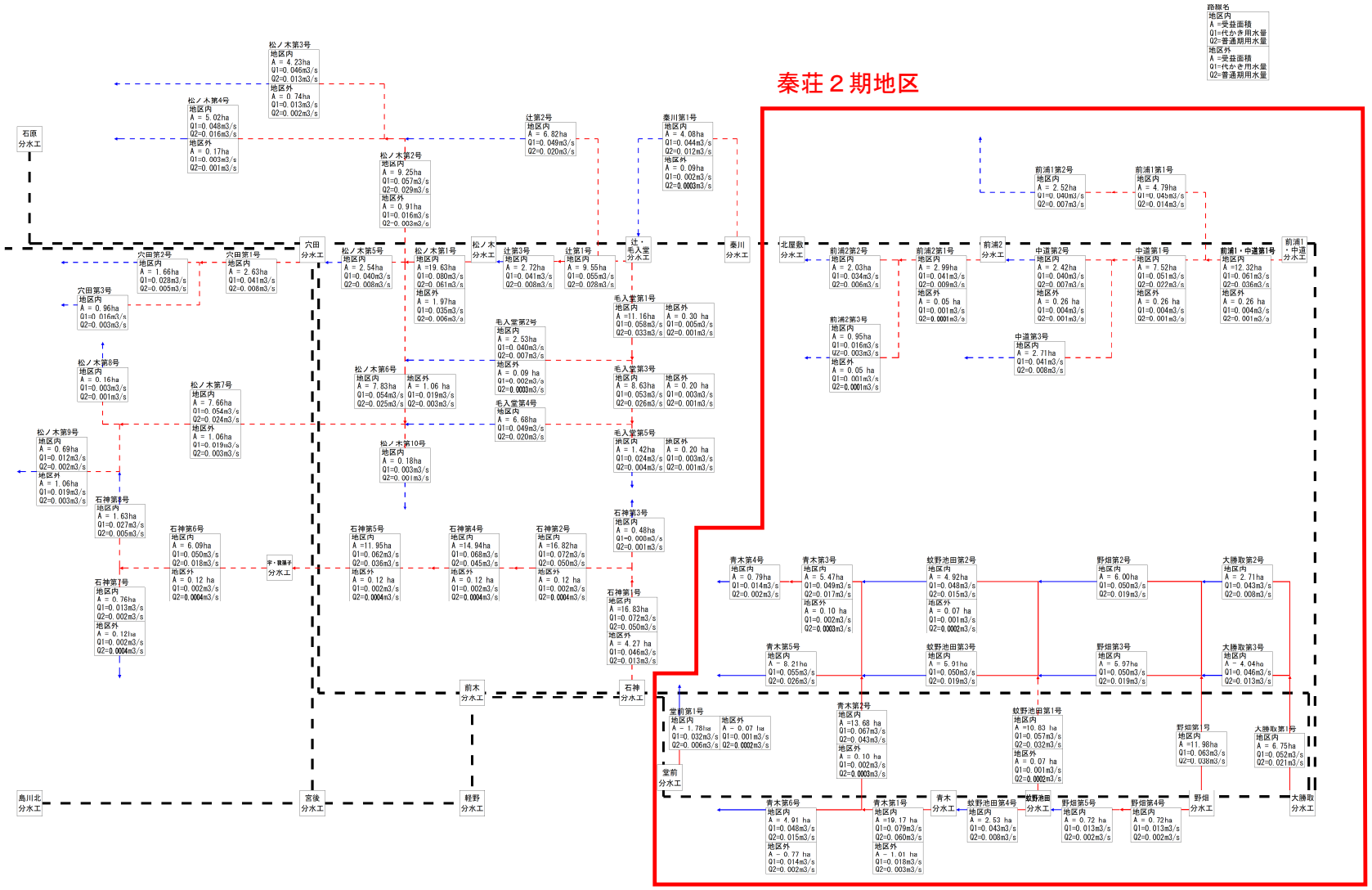
事業名	所有別 / 区分	個人所有	県所有	町所有	土地改良区	その他	計	備考
農業用用排水施設 暗渠排水	面積 (ha)	69.0	－	－	－	－	69.0	
	受益者数 (人)	63	－	－	－	－	63	
	筆数 (筆)	330	－	－	－	－	330	
	権利関係	所有権	－	－	－	－		
	備考(関係戸数)	63	－	－	－	－	63	

第３節　　水利状況

１　用水状況

昭和40年代～昭和50年代後半に県営ほ場整備事業で水路整備がなされた。愛知第一幹線から蚊野・軽野支線水路を通じて地区内をかんがいしている。

（１）用水系統



（２）用水施設

（ア）取水方法一覧表

（第５表-1）

事業名	項目 / 施設名	かんがい面積 100ha以上		かんがい面積 100ha～30ha		かんがい面積 30ha未満		計		水利権		慣行水利権		延べ取水量	備考
		箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha	箇所	m^3/s	箇所	m^3/s	m^3/s	
農業用用排水施設 暗渠排水	貯水池			1	69.0			1	69.0	1	0.206			0.206	永源寺ダム
	井堰							－	－						
	自然取入口							－	－						
	揚水機							－	－						
	その他							－	－						
	計	－	－	1	69.0	－	－	1	69.0	1	0.206	－	－	0.206	

（イ）改修を要する施設一覧表

（第５表-2）

事業名	項目 / 施設名	施設名又は箇所数	受益面積 (ha)	構造	規模	新設年又は更新年	改修を必要とする理由	備考
農業用用排水施設 暗渠排水	貯水池							
	井堰							
	自然取入口							
	揚水機							
	用水路	1	69.0	開水路	UF300～450　等	S50年代	老朽化に伴う改修	
	その他							
	計	1	69.0					

（３）用水に関する被害状況　　該当なし

（４）ため池決壊の場合の想定被害状況　　該当なし

２　排水状況

町内を流下している一級河川宇曽川を経て、琵琶湖へ自然排水されている。地区内水路は、プレハブ柵渠により整備されているが、昭和50年代の県営ほ場整備事業により造成された施設であり、一部区間で老朽化が著しい。

（２）排水施設

（ア）排水方法一覧表

（第５表-4）

事業名	施設名 ＼ 項目		排水面積 100ha以上 箇所	100ha以上 ha	100ha～30ha 箇所	100ha～30ha ha	30ha未満 箇所	30ha未満 ha	計 箇所	計 ha	排水慣行 (m^3/s)	現況排水能力 (m^3/s)	備考
農業用暗渠排水施設	自然	排水路			1	20.5			1	20.5	0.595	0.595	
		水門								－			
	機械	排水機								－			
		水門及び排水機								－			
		排水路及び排水機								－			
	計		－	－	1	20.5	－	－	1	20.5	0.595	0.595	

（イ）改修を要する施設一覧表

（第５表-5）

事業名	施設名 ＼ 項目		施設名又は箇所数	受益面積 (ha)	構造	規模	新設年又は更新年	改修を必要とする理由	備考
農業用暗渠排水施設	自然	排水路	1	20.5	プレハブ柵渠	H500×B500～H900×B1000	S50	老朽化	
		水門							
	機械	排水機							
		水門及び排水機							
		排水路及び排水機							
	計		1	20.5					

（３）排水に関する被害状況　　該当なし

３ 河川状況　　該当なし

第４節　道路概況　　該当なし

第５節　地域農業の概況

１　産業別就業人口

（第７表-1）

項目 / 市町村名	総数（人）	農業（人）	林業（人）	漁業（人）	鉱業（人）	建設業（人）	製造業（人）	水道業 熱供給 電気ガス（人）	通信業 運輸（人）	小売業 卸売業（人）	金融保険業（人）	不動産業（人）	サービス業（人）	公務（人）	その他（人）	備考
愛荘町	9,769	221	1	8	3	572	3,367	17	652	1,265	126	88	2,898	207	344	
計	9,769	221	1	8	3	572	3,367	17	652	1,265	126	88	2,898	207	344	
比　率　(%)	100	2	0	0	0	6	34	0	7	13	1	1	30	2	4	

資料：令和2年国勢調査

２　経営耕地広狭別農業経営体数及び耕地の分散状況

（第７表-2）

区分 / 市町村名	農業経営体数（経営体）	経営耕地広狭別農業経営体数（経営体）														1経営体当たり平均農用地面積(ha)						耕地の分散状況		備考
		0.3ha未満	0.3～0.5ha	0.5～1.0ha	1.0～1.5ha	1.5～2.0ha	2.0～3.0ha	3.0～5.0ha	5.0～10.0ha	10.0～20.0ha	20.0～30.0ha	30.0～50.0ha	50.0～100.0ha	100.0～150.0ha	150.0ha以上	田	畑	樹園地	小計	草地	計	団地数	一戸当たり面積（ha）	
愛荘町	347	7	44	116	64	39	33	7	6	15	5	6	5	－	－	3.6	0.1	0.0	3.7	－	3.7	－	－	
計	347	7	44	116	64	39	33	7	6	15	5	6	5	0	0	3.6	0.1	0.0	3.7	－	3.7	－	－	
比率(%)	100	2	13	34	18	11	10	2	2	4	1	2	1	0	0	97	3	0	100	－	100	－	－	

資料：2020年農林業センサス

３　主要家畜頭数

（第７表-3）

項目 / 市町村名	主要家畜										備考
	乳用牛		肉用牛		豚						
	数量（頭）	経営体数（経営体）	数量（頭）	経営体数（経営体）	数量（頭）	経営体数（経営体）					
愛荘町	x	1	x	1	x	x					「x」は秘密保護上統計数値を公表しないもの
計	x	1	x	1	x	x					
100経営体当たり数量(頭)		－		－		－					
飼養経営体数割合（%）		0		0		－					

資料：2020年農林業センサス

4　主要作物作付状況

（第７表-4）

市町村名			愛荘町						計	平均	作付率	備考
総耕地面積 (ha)			1,450						1,450			
総本地面積 (ha)			1,370						1,370			
区分 / 作物名			作付面積 (ha)	単位面積当たり収量 (kg/10a)	作付面積 (ha)	単位面積当たり収量 (kg/10a)	作付面積 (ha)	単位面積当たり収量 (kg/10a)	作付面積 (ha)	単位面積当たり収量 (kg/10a)	(%)	
田	表作	水稲	803	527					803	527	58.6	
田	表作	大豆	309	50					309	50	22.6	
田	裏作	小麦	336	224					336	224	24.5	
田									－	－	－	
田									－	－	－	
田									－	－	－	
田									－	－	－	
田									－	－	－	
田									－	－	－	
田	小計		1,448						1,448		105.7	
畑									－	－	－	
畑									－	－	－	
畑									－	－	－	
畑									－	－	－	
畑	小計		－						－		－	
樹園地									－	－	－	
樹園地									－	－	－	
樹園地									－	－	－	
樹園地	小計		－						－		－	
計			1,448						1,448		105.7	
市町村別延べ作付率(%)			105.7						105.7			

資料：令和6年作物統計

５　農業の動向

（第７表-5）

区分＼項目	農業経営体			土　地			主　要　作　物			大　家　畜			地　域 指定等	備　　考
		B	A		B	A	作物名	B	A	家畜名	B	A		
変化の状況 （C年を100とする指数）	農業 経営体数	76	49	耕　地	100	101	水　稲	92	93	乳用牛	－	－	農業振興地域 〈旧秦荘町〉 指定　S45.12 計画　S47.11	A:令和2年 （農林業センサス） B:平成27年 （農林業センサス） C:平成22年 （農林業センサス）
	個人 経営体数	74	47	田	101	102	大　豆	116	108	肉用牛	－	－		
	団体経営体 (法人)数	183	367	畑	45	76	小　麦	121	100	豚	－	－		
	団体経営体 (非法人)数	100	35	樹園地	150	50								
変化の理由	後継者不足や、高齢化により農業経営体数が減少する一方、担い手の育成により団体経営体(法人)は増加。			概ね横ばいで推移。			概ね横ばいで推移する中、小麦は減少傾向。			ー				

資料：2020,2015,2010年 農林業センサス、作物統計

「-」…統計数値の非公表等で、変化の状況把握ができないもの

第６節　地域環境の概況

１　自然環境

（１）気象

平均気温は約14℃前後、年降水量は1,600㎜前後で、冬期には積雪もある。

（２）地形・地質

琵琶湖の東部・湖東地域に位置し、東西約13km、南北約6.9km、総面積は37.97km2で滋賀県全体の約１％を占めている。標高は最も高い南東部で約700m、低い北西部で95m、鈴鹿山系の山麓から西に広がる洪積丘陵と扇状地が湖東平野の一部を形成している。

（３）水環境

町域の南に一級河川愛知川が、中央部に一級河川宇曽川、北に岩倉川が流れ、琵琶湖に流入している。

２　社会環境

（１）地域指定

東近江市(一部)、愛荘町(一部)からなる「湖東都市計画区域」が定められている。また、農業振興地域は、昭和45年12月に指定されている。

（２）地域指標

①人口と世帯数

令和2年の人口は20,893人、世帯数が7,841世帯となっている。(資料：令和2年国勢調査)

②産業構造

産業別就業者数割合は、第3次産業が53.8%、第2次産業が40.4%、第1次産業が2.4%となっている。(資料：令和2年国勢調査)

第1次産業は人工林の保育が課題になるなど農林業の生産者数、生産額ともに減少傾向にある。また、農業は、稲作を中心に小麦・大豆等の生産が行われている。

第４章　　一般計画

第１節　事業計画の要旨

１　要　旨

基盤整備と並行して法人化した組織の充実を図り、認定農業者の育成、後継者育成のための取り組みが必要である。従って、担い手の育成、農地の集積が可能である本事業を行うことが求められている。地区内水路は開水路(UF、現場打)であるが、老朽化により漏水が激しく、末端までの送水が十分に行き届かず用水不足を来している。また、支線排水路の側面や底面から土砂が流出し、法面やパネルの崩壊も部分的に見られるのをはじめ、一部の農地は水はけが悪く作業効率や生産性が悪い状態である。このようなことから、本地区では、用排水路及び暗渠排水整備により、担い手となる農業経営体の効率的かつ安定的な経営の充実を図り、さらにはこの法人を母体として認定農業者や後継者を育成するため、本事業を実施するものである。

２　事業別面積　　（第８表）

事業名	農業用用排水施設　暗渠排水																		計	備　考
土地利用区分	水田	普通畑	牧草畑	果樹園	道水路等	小計	水田	普通畑	牧草畑	果樹園	道水路等	小計	水田	普通畑	牧草畑	果樹園	道水路等	小計		
事業目的	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	
農業用用排水施設	69.0	－	－	－	－	69.0	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	69.0	
暗渠排水	(3.9)	－	－	－	－	(3.9)	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	(3.9)	
計	69.0	－	－	－	－	69.0	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	69.0	

第２節　営農計画及び土地利用計画

１　営農計画の概要

本地区では、個別完結型の農業機械保有形態でほとんどを第2種兼業農家が占める。高齢化等により将来の農業を担う人材確保が急務となっている状況の中、地域計画を策定し、農用地利用の集積・集約化を促進していくことを検討している。今後、基盤整備と並行して認定農業者への農地の利用集積を進めると共に、農業機械等の適切な資本整備を実現させ、地域全体の生産コストの低減を図っていく。加えて、営農意欲のある若い人材の育成を図り、将来の組織リーダーやオペレーターを確保をすることを目標とする。

２　土地利用区分　　（第９表-1）

事　業　名	土地利用区分 / 区分	水　田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草畑 (ha)	果樹園 (ha)	茶　園 (ha)	その他 (ha)	小　計 (ha)	原　野 (ha)	山　林 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備　考
農業用用排水施設	現　況	69.0	－	－	－	－	－	69.0	－	－	－	69.0	
	計　画	69.0	－	－	－	－	－	69.0	－	－	－	69.0	
暗渠排水	現　況	(3.9)	－	－	－	－	－	(3.9)	－	－	－	(3.9)	
	計　画	(3.9)	－	－	－	－	－	(3.9)	－	－	－	(3.9)	
計	現　況	69.0	－	－	－	－	－	69.0	－	－	－	69.0	
	計　画	69.0	－	－	－	－	－	69.0	－	－	－	69.0	

３　作付方式

（第9表-2）

事業名	項目	経営類型	土地利用区分	1年目												2年目												3年目												備考
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
農業用用排水施設　暗渠排水	現況	水稲	水田					□	—	—	—	×								□	—	—	—	×								□	—	—	—	×				○—○ 播種
																																								□—□ 定植
		大豆							○	—	—	—	×								○	—	—	—	×								○	—	—	—	×				×—× 収穫
		（たまねぎ）		—	—	—	—	—	—	×			○	—	—	—	—	—	—	—	—	×			○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	×			○	—	—	
		（小麦）		—	—	—	—	—	×					○	—	—	—	—	—	—	×					○	—	—	—	—	—	—	—	×					○	—	—	
	計画	水稲	水田					□	—	—	—	×								□	—	—	—	×								□	—	—	—	×				
		大豆							○	—	—	—	×								○	—	—	—	×								○	—	—	—	×				
		（たまねぎ）		—	—	—	—	—	—	×			○	—	—	—	—	—	—	—	—	×			○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	×			○	—	—	
		（小麦）		—	—	—	—	—	×					○	—	—	—	—	—	—	×					○	—	—	—	—	—	—	—	×					○	—	—	

４　生産計画

（第９表－３）

事業名	項目／地目名		作物名	作付面積（ha）			作付率（%）		単位面積当たり収量(kg/10a)			生産量（t）			同左生産量増減の内訳（t）		備考
				現況	計画	増減	現況	計画	現況	計画	増減	現況	計画	増減	面積増減	単位面積当たり収量増加	
農業用用排水施設 暗渠排水	水田	表作	水稲	45.0	45.0	－	69.6	69.6	523	523	－	235.4	235.4	－	－	－	
			大豆	19.7	19.7	－	30.4	30.4	91	91	－	17.9	17.9	－	－	－	
			小　計	64.7	64.7	－	100.0	100.0									
		裏作	小麦	11.1	11.1	－	17.1	17.1	281	281	－	31.2	31.2	－	－	－	
			たまねぎ	1.9	1.9	－	2.9	2.9	3,543	3,543	－	67.3	67.3	－	－	－	
			小　計	13.0	13.0	－	20.0	20.0									
	計			77.7	77.7	－	120.0	120.0									
	普通畑	春夏作															
			小　計	－	－	－	－	－									
		秋冬作															
			小　計														
	計			－	－	－	－	－									
	合　計			77.7	77.7	－	120.0	120.0									

※作付面積は本地面積

５　労働改善計画

（第９表－４）

事業名	項目 土地利用区分	作　物　名	作付面積 (ha)	単位面積当たり労働投下量(hr/10a) 区　分	現　況	計　画	増　減	備　考
農業用用排水施設 暗渠排水	水田	水稲 （大規模）	36.3	人　力	21.0	12.9	△ 8.1	
				機械力	6.9	5.5	△ 1.4	
		水稲 （個別）	8.7	人　力	19.6	13.6	△ 6.0	
				機械力	5.9	5.9	－	
		小麦	11.1	人　力	5.6	5.6	－	
				機械力	3.9	3.9	－	
		大豆	19.7	人　力	5.6	5.6	－	
				機械力	3.0	3.0	－	
		たまねぎ	1.9	人　力	53.7	45.6	△ 8.1	
				機械力	21.2	16.9	△ 4.3	
	小　計		77.7					
合　計			77.7					

６　級地別土地利用区分　　該当なし

７　土地配分計画　　該当なし

第３節　用水計画

１　計画基準年　　平成8年（上位計画による）

２　計画かんがい方式

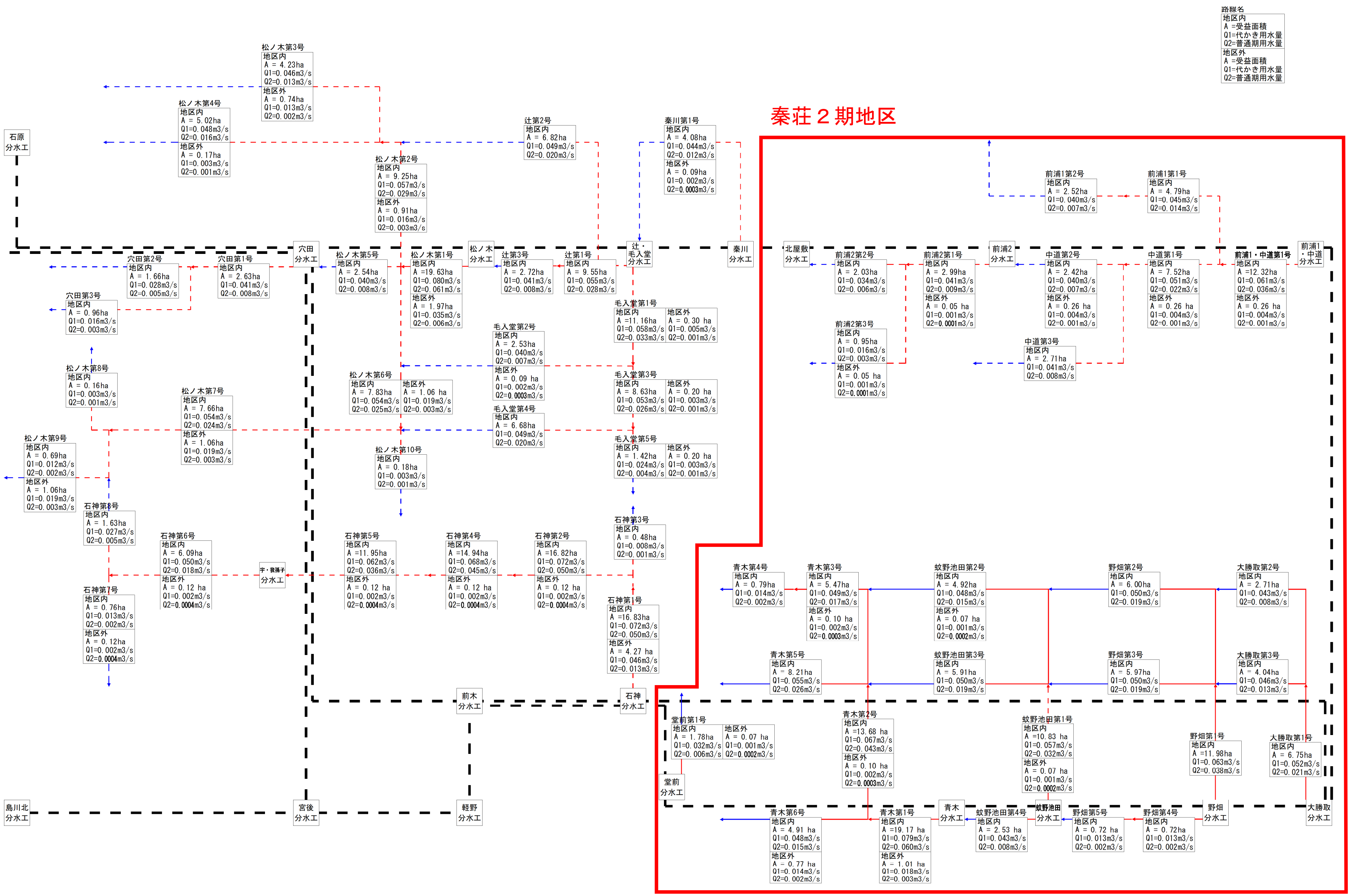
（１）水　田

項目 作付	代かき期間	かんがい期間	備　　考
遅　植	5月1日　～　5月15日	5月16日　～　9月5日	

（２）畑（輪換畑）

うね間かんがい

3　計画用水系統


路線名
地区内
A =受益面積
Q1=代かき用水量
Q2=普通期用水量
地区外
A =受益面積
Q1=代かき用水量
Q2=普通期用水量
秦荘２期地区
石原 分水工
穴田 分水工
松ノ木 分水工
辻・毛入堂 分水工
秦川 分水工
北屋敷 分水工
前浦2 分水工
前浦1・中道 分水工
宇・我孫子 分水工
前木 分水工
石神 分水工
堂前 分水工
島川北 分水工
宮後 分水工
軽野 分水工
青木 分水工
蚊野池田 分水工
野畑 分水工
大勝取 分水工
松ノ木第3号 地区内 A = 4.23ha Q1=0.046m3/s Q2=0.013m3/s 地区外 A = 0.74ha Q1=0.013m3/s Q2=0.002m3/s
松ノ木第4号 地区内 A = 5.02ha Q1=0.048m3/s Q2=0.016m3/s 地区外 A = 0.17ha Q1=0.003m3/s Q2=0.001m3/s
松ノ木第2号 地区内 A = 9.25ha Q1=0.057m3/s Q2=0.029m3/s 地区外 A = 0.91ha Q1=0.016m3/s Q2=0.003m3/s
辻第2号 地区内 A = 6.82ha Q1=0.049m3/s Q2=0.020m3/s
秦川第1号 地区内 A = 4.08ha Q1=0.044m3/s Q2=0.012m3/s 地区外 A = 0.09ha Q1=0.002m3/s Q2=0.0003m3/s
穴田第2号 地区内 A = 1.66ha Q1=0.028m3/s Q2=0.005m3/s
穴田第1号 地区内 A = 2.63ha Q1=0.041m3/s Q2=0.008m3/s
穴田第3号 地区内 A = 0.96ha Q1=0.016m3/s Q2=0.003m3/s
松ノ木第5号 地区内 A = 2.54ha Q1=0.040m3/s Q2=0.008m3/s
松ノ木第1号 地区内 A =19.63ha Q1=0.080m3/s Q2=0.061m3/s 地区外 A = 1.97ha Q1=0.035m3/s Q2=0.006m3/s
辻第3号 地区内 A = 2.72ha Q1=0.041m3/s Q2=0.008m3/s
辻第1号 地区内 A = 9.55ha Q1=0.055m3/s Q2=0.028m3/s
毛入堂第1号 地区内 A =11.16ha Q1=0.058m3/s Q2=0.033m3/s 地区外 A = 0.30 ha Q1=0.005m3/s Q2=0.001m3/s
毛入堂第2号 地区内 A = 2.53ha Q1=0.040m3/s Q2=0.007m3/s 地区外 A = 0.09 ha Q1=0.002m3/s Q2=0.0003m3/s
毛入堂第3号 地区内 A = 8.63ha Q1=0.053m3/s Q2=0.026m3/s 地区外 A = 0.20 ha Q1=0.003m3/s Q2=0.001m3/s
毛入堂第4号 地区内 A = 6.68ha Q1=0.049m3/s Q2=0.020m3/s
毛入堂第5号 地区内 A = 1.42ha Q1=0.024m3/s Q2=0.004m3/s 地区外 A = 0.20 ha Q1=0.003m3/s Q2=0.001m3/s
松ノ木第6号 地区内 A = 7.83ha Q1=0.054m3/s Q2=0.025m3/s 地区外 A = 1.06 ha Q1=0.019m3/s Q2=0.003m3/s
松ノ木第7号 地区内 A = 7.66ha Q1=0.054m3/s Q2=0.024m3/s 地区外 A = 1.06ha Q1=0.019m3/s Q2=0.003m3/s
松ノ木第8号 地区内 A = 0.16ha Q1=0.003m3/s Q2=0.001m3/s
松ノ木第9号 地区内 A = 0.69ha Q1=0.012m3/s Q2=0.002m3/s 地区外 A = 1.06ha Q1=0.019m3/s Q2=0.003m3/s
松ノ木第10号 地区内 A = 0.18ha Q1=0.003m3/s Q2=0.001m3/s
石神第8号 地区内 A = 1.63ha Q1=0.027m3/s Q2=0.005m3/s
石神第7号 地区内 A = 0.76ha Q1=0.013m3/s Q2=0.002m3/s 地区外 A = 0.12ha Q1=0.002m3/s Q2=0.0004m3/s
石神第6号 地区内 A = 6.09ha Q1=0.050m3/s Q2=0.018m3/s 地区外 A = 0.12 ha Q1=0.002m3/s Q2=0.0004m3/s
石神第5号 地区内 A =11.95ha Q1=0.062m3/s Q2=0.036m3/s 地区外 A = 0.12 ha Q1=0.002m3/s Q2=0.0004m3/s
石神第4号 地区内 A =14.94ha Q1=0.068m3/s Q2=0.045m3/s 地区外 A = 0.12 ha Q1=0.002m3/s Q2=0.0004m3/s
石神第2号 地区内 A =16.82ha Q1=0.072m3/s Q2=0.050m3/s 地区外 A = 0.12 ha Q1=0.002m3/s Q2=0.0004m3/s
石神第3号 地区内 A = 0.48ha Q1=0.008m3/s Q2=0.001m3/s
石神第1号 地区内 A =16.83ha Q1=0.072m3/s Q2=0.050m3/s 地区外 A = 4.27 ha Q1=0.046m3/s Q2=0.013m3/s
前浦1第2号 地区内 A = 2.52ha Q1=0.040m3/s Q2=0.007m3/s
前浦1第1号 地区内 A = 4.79ha Q1=0.045m3/s Q2=0.014m3/s
前浦2第2号 地区内 A = 2.03ha Q1=0.034m3/s Q2=0.006m3/s
前浦2第1号 地区内 A = 2.99ha Q1=0.041m3/s Q2=0.009m3/s 地区外 A = 0.05 ha Q1=0.001m3/s Q2=0.0001m3/s
前浦2第3号 地区内 A = 0.95ha Q1=0.016m3/s Q2=0.003m3/s 地区外 A = 0.05 ha Q1=0.001m3/s Q2=0.0001m3/s
中道第2号 地区内 A = 2.42ha Q1=0.040m3/s Q2=0.007m3/s 地区外 A = 0.26 ha Q1=0.004m3/s Q2=0.001m3/s
中道第1号 地区内 A = 7.52ha Q1=0.051m3/s Q2=0.022m3/s 地区外 A = 0.26 ha Q1=0.004m3/s Q2=0.001m3/s
前浦1・中道第1号 地区内 A =12.32ha Q1=0.061m3/s Q2=0.036m3/s 地区外 A = 0.26 ha Q1=0.004m3/s Q2=0.001m3/s
中道第3号 地区内 A = 2.71ha Q1=0.041m3/s Q2=0.008m3/s
青木第4号 地区内 A = 0.79ha Q1=0.014m3/s Q2=0.002m3/s
青木第3号 地区内 A = 5.47ha Q1=0.049m3/s Q2=0.017m3/s 地区外 A = 0.10 ha Q1=0.002m3/s Q2=0.0003m3/s
蚊野池田第2号 地区内 A = 4.92ha Q1=0.048m3/s Q2=0.015m3/s 地区外 A = 0.07 ha Q1=0.001m3/s Q2=0.0002m3/s
野畑第2号 地区内 A = 6.00ha Q1=0.050m3/s Q2=0.019m3/s
大勝取第2号 地区内 A = 2.71ha Q1=0.043m3/s Q2=0.008m3/s
青木第5号 地区内 A = 8.21ha Q1=0.055m3/s Q2=0.026m3/s
蚊野池田第3号 地区内 A = 5.91ha Q1=0.050m3/s Q2=0.019m3/s
野畑第3号 地区内 A = 5.97ha Q1=0.050m3/s Q2=0.019m3/s
大勝取第3号 地区内 A = 4.04ha Q1=0.046m3/s Q2=0.013m3/s
堂前第1号 地区内 A = 1.78ha Q1=0.032m3/s Q2=0.006m3/s 地区外 A = 0.07 ha Q1=0.001m3/s Q2=0.0002m3/s
青木第2号 地区内 A =13.68 ha Q1=0.067m3/s Q2=0.043m3/s 地区外 A = 0.10 ha Q1=0.002m3/s Q2=0.0003m3/s
蚊野池田第1号 地区内 A =10.83 ha Q1=0.057m3/s Q2=0.032m3/s 地区外 A = 0.07 ha Q1=0.001m3/s Q2=0.0002m3/s
野畑第1号 地区内 A =11.98ha Q1=0.063m3/s Q2=0.038m3/s
大勝取第1号 地区内 A = 6.75ha Q1=0.052m3/s Q2=0.021m3/s
青木第6号 地区内 A = 4.91 ha Q1=0.048m3/s Q2=0.015m3/s 地区外 A = 0.77 ha Q1=0.014m3/s Q2=0.002m3/s
青木第1号 地区内 A =19.17 ha Q1=0.079m3/s Q2=0.060m3/s 地区外 A = 1.01 ha Q1=0.018m3/s Q2=0.003m3/s
蚊野池田第4号 地区内 A = 2.53 ha Q1=0.043m3/s Q2=0.008m3/s
野畑第5号 地区内 A = 0.72 ha Q1=0.013m3/s Q2=0.002m3/s
野畑第4号 地区内 A = 0.72ha Q1=0.013m3/s Q2=0.002m3/s

4　計画用水量

（1）かんがい用水

（第10表-1-1）

項目 / 系統名	種別	面積（ha） 事業名 農業用用排水施設		計	水田かんがい 普通期 計画平均単位用水量（mm/日）	代かき期 計画代かき単位用水量（mm）	面積（ha）	水田畑利用 平均1日当たり計画かん水深（mm/日）	平均間断日数（日）	面積（ha）	畑地かんがい 平均1日当たり計画かん水深（mm/日）	平均間断日数（日）	面積（ha）	その他 計画平均単位用水量（mm/日）	面積（ha）	消費水量（m^3/s）	損失率（%）	粗用水量 平均（m^3/s）	最大（m^3/s）	備考
秦荘２期		69.0		69.0	19.6	130	49.3	30.0	6	19.7	－	－	－	－	－	0.175	15	0.126	0.206	
計		69.0		69.0																

（2）営農飲雑用水　　該当なし

5　水源計画

（1）水利用計画

（第10表-2）

区分 / 項目		消費水量 a（m3/s）	有効雨量 b（m3/s）	純用水量 c＝a－b（m3/s）	粗用水量 d=c/(1-α)（m3/s）	現況利用可能水量 水源名	取水地点利用可能量 e（m3/s）	ほ場利用可能量 f（m3/s）	不足水量 純不足水量 g＝c－f（m3/s）	全不足水量 h＝d－e（m3/s）	水源依存量 水源名	水量（m3/s）	水源工種	備考 損失率：α＝ 15%
農業用用排水施設	代かき期	0.175	－	0.175	0.206	愛知第一幹線	0.206	0.206	―	―	―	―	―	
	普通期	0.107	－	0.107	0.126	愛知第一幹線	0.126	0.126	―	―	―	―	―	
	計													

（２）用水対策

（ア）貯水池　　該当なし

（イ）井堰及び自然取入口　　該当なし

（ウ）揚水機　　該当なし

（エ）用水路

（第10表-6）

項目 / 名称	かんがい面積（ha） 事業名			最大通水量	延長	構造	備考
	農業用用排水施設		計	（m^3/s）	（km）		
用水路	69.0		69.0	0.206	7.754	VUφ150～300、BF250～500	
計	69.0	－	69.0		7.754		

（オ）その他の水源施設　　該当なし

（３）水温水質　　該当なし

第４節　排水計画

１　計画基準雨量 日雨量 190㎜/24h（1/10年）

２　計画排水方式　自然排水

３　計画排水系統　現況排水系統と変更なし

4　計画排水量

（第11表-1）

項目 / 排水系統名	受益面積（ha） 事業名 農業用用排水施設		計	流域面積（km²） 山地	平地	基準雨量（mm）	降雨による直接単位流出量（m³/s/km²） 山地	平地	基底流出量（m³/s/km²） 山地	平地	全排水量（m³/s） 山地	平地 自然排水	機械排水	単位排水量（m³/s/km²） 山地	平地	備考
支線排水路	20.5		20.5		0.205	190.0	－	2.90	－	－	－	0.595	－	－	2.90	
計	20.5	－	20.5	－	0.205						－	0.595	－			

5　排水対策

（1）排水水門　　該当なし

（2）排 水 機　　該当なし

（3）排 水 路

（第11表-4）

項目 / 名称	流域面積（km²）	受益面積（ha） 事業名 農業用用排水施設		計	計画排水量（m³/s）	延長（km）	構造	排水本川 名称	計画洪水量（m³/s）	計画洪水位（m）	備考
支線排水路	0.205	20.5		20.5	0.595	1.414	高密度PE管・プレハブ柵渠	宇曽川	－	－	
計		20.5	－	20.5		1.414			－	－	

（4）その他　　該当なし

6　たん水検討　　該当なし

第５節　道路計画　　該当なし

第６節　農用地造成計画　　該当なし

第７節　洪水調節計画　　該当なし

第８節　干拓計画　　該当なし

第９節　農用地整備計画

１　区画整理　　該当なし

２　暗渠排水

（１）暗渠排水　　（第16表-3-1）

項目 / 区分	面積（ha） 事業名 暗渠排水		計	土壌統（区）名	基準雨量（mm/日）	単位排水量（ﾘｯﾄﾙ/s/m）	計画後の地下水位（m）	集水渠出口以下の排水方式	備考
暗渠排水	3.9		3.9	黄褐色土壌	30	0.0035	0.5	集中型	
計	3.9		3.9						

（２）心土破砕　　該当なし

３　客土　　該当なし

４　農地保全　　該当なし

第10節　老朽ため池改修計画　　該当なし

第５章　主要工事計画

第１節　用水施設

１　貯水池　　該当なし

２　頭首工　　該当なし

３　揚水機　　該当なし

４　用水路

（第17表-4）

項目 / 水路名	かんがい面積（ha） 事業名			通水量	延長（km）			構造	勾配	主要構造物	備考
	農業用用排水施設		計	（m^3/s）	開きょ	トンネルその他	計				
用水路	69.0		69.0	0.206	5.132	2.622	7.754	VUφ150～300、BF250～500	1/500～1/1000		
計	69.0		69.0		5.132	2.622	7.754				

５　その他かんがい施設　　該当なし

第２節　排水施設

（第18表-3）

項目 / 水路名	受益面積（ha） 事業名 農業用用排水施設		計	排水量（m３/s）	延長（km） 開きょ	トンネル その他	計	構造	勾配	主要構造物	備考
支線排水路	20.5		20.5		1.414	－	1.414	高密度PE管・プレハブ柵渠	1/50～650	－	
計	20.5	－	20.5		1.414	－	1.414				

第３節　道路及び索道　　該当なし

第４節　農用地造成　　該当なし

第５節　洪水調節施設　　該当なし

第６節　干拓施設　　該当なし

第７節　農用地整備施設

１　区画整理　　該当なし

（１）区画整理

２　暗渠排水

（１）暗渠排水

（第23表-4-1）

項目 / 区分	面積（ha） 事業名 暗渠排水		計	集水渠 勾配	管種	管径（mm）	延長（m/ha）	排水渠 勾配	管種	管径（mm）	深さ（m）	間隔（m）	延長（m/ha）	集水渠出口以下の排水施設 名称	構造	数量（m/ha）	備考
暗渠排水	3.9		3.9	1/600	ＶＵ	65～100	80	1/450	ポリエチレン有孔管	60	0.6	10	975	支線排水	プレハブ柵渠	90	
計	3.9		3.9														

３　客土　　該当なし

４　除礫　　該当なし

５　農地保全　　該当なし

第８節　老朽ため池改修施設　　該当なし

第６章　附帯工事計画　　該当なし

第７章　工事の着手及び完了の予定時期

着　　手	令和　8年度
完了予定	令和 13年度

第８章　環境との調和への配慮

１　整備上の配慮等事項

・ほ場、畦畔の表土は、施工前に剥がして保管し、施工後に戻すことで、植物（ヒメミソハギ、シソクサなど）の再生を図る

・排水路の連続性を維持するとともに、コンクリート底打ちを行わない区間を設けることにより、生息場所を確保する。また工事実施時、改修区間において希少植物が確認された場合、近傍の改修を行わない排水路（柵渠区間）等への移植を検討する

・両生類等の産卵期が集中する時期を避け、非灌漑期に工事を行うことで濁水の影響を最小化する

２　施行上の配慮等事項

・工事用の作業スペースは、周辺環境をできるだけ改変しないよう最小化に努める

・工事施工に際して、低騒音型の機械を使用する

第９章　換地計画の概要　該当なし

第１０章　事業費の総額及び内訳

（第26表）

区分＼事業名	農業用用排水施設　暗渠排水（百万円）	備　　考
用水路工	640	
排水路工	62	
暗渠排水工	14	
小　　計	716	
測量試験費	145	
用地買収補償費	8	
埋蔵文化財調査費	10	
小　　計	163	
計	879	
工事雑費	8.5	
事務費	34.5	
小　　計	43	
合　　計	922	

第１１章　効用

（第27表）

事業名	区分＼項目	年増加見込効果額（千円）	年増加見込所得額（千円）	備　　考
農業用用排水施設　暗渠排水	作物生産効果	34,349	69	
	品質向上効果	5,452	－	
	営農経費節減効果	48,780	53,373	
	維持管理費節減効果	△ 4,122	701	
	水源かん養効果	5,553	－	
	国産農産物安定供給効果	7,877	－	
	計	97,889	54,143	

＜参考＞

総便益額：　　1,866,826 千円

第１２章　関連する事業

該当なし

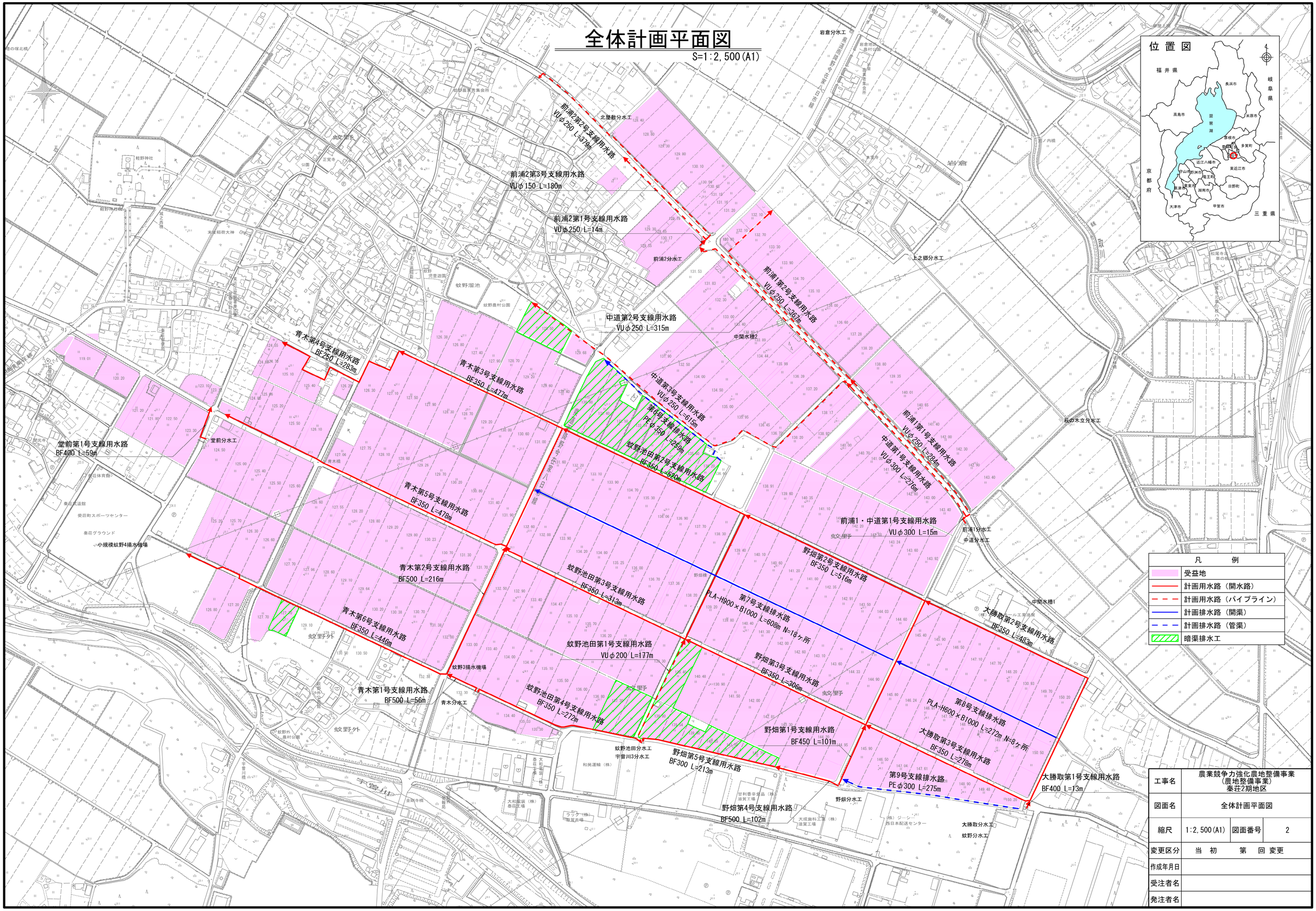
第１３章　現況・計画図面

１　現況計画平面図

別添のとおり

全体計画平面図

S=1:2,500(A1)



工事名	農業競争力強化農地整備事業 （農地整備事業） 秦荘2期地区		
図面名	全体計画平面図		
縮尺	1:2,500(A1)	図面番号	2
変更区分	当　初　　第　回 変更		
作成年月日			
受注者名			
発注者名			